

2010年1月8日

各位

太平洋セメント株式会社

埼玉工場での苛性ソーダ水溶液流出事故について

2009年12月25日から30日の間に、弊社埼玉工場（埼玉県日高市原宿）におきまして、発電設備用に使用する苛性ソーダ水溶液（25%濃度）が配管バルブの取付部の緩みから漏洩し、その一部の約3m³が排水約1,500m³に混入し、近隣の小畔（こあぜ）川に流出する事故が発生いたしました。

事故発生後は、苛性ソーダ水溶液の流出の防止措置を講じるとともに、埼玉県及び日高市へ事故発生の届出を行いました。

苛性ソーダ水溶液は強アルカリ性のため、事故により小畔川のpH（水素イオン濃度）が一時的に上昇し、小魚がへい死する被害が出ましたが、現在、県の水質測定結果は正常になっております。

今回の事故により、近隣にお住まいの皆様および関係者の皆様には、多大なるご迷惑、ご心配おかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回の事故を重大なことと受け止め、今後一層、再発防止と環境保全に全力を挙げて取り組むとともに、重ねてご迷惑をおかけした皆様方にお詫び申し上げます。

<本件に関するお問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 IR 広報グループ

TEL 03-5531-7334